

《新型コロナウイルス感染症対策》

避難所に段ボール製パーテーションを配備

～市内業者と試作品の改良を重ね協同開発～

避難所での新型コロナウイルスの感染拡大防止とプライバシーの確保を目的として、学校体育館などの避難所で使用する段ボール製パーテーション2,100セット、発熱者やその疑いのある方などに使用するワンタッチパーテーション285張り、更衣室や授乳室などとして一時的に使用するプライベートテント99張りの購入を行う。

段ボール製パーテーションは、市内の段ボール会社である野田市木間ヶ瀬5367番地1の加藤段ボール株式会社（代表取締役会長 加藤 敏夫氏）と協同で試作品の改良を重ねながら完成したもの。避難所で簡単に組立てることが可能なオリジナル製品となっている。（別紙—1）パーツの使い方により、「縦2.10m×横2.10m×高さ1.45m」と「縦2.10m×横1.00m×高さ1.45m」の2タイプの区画にアレンジが可能で、これにより、新型コロナウイルスで懸念されている避難所での飛沫感染を防止するとともに、既に準備しているマスク、アルコール消毒液、非接触型体温計などと合わせ、避難所における新型コロナウイルス感染症対策を進める。

問合せ＝防災安全課・内線3129

野 田 市

■段ボール製パーティション写真

縦 2.10m × 横 2.10m × 高さ 1.45m



縦 2.10m × 横 2.10m × 高さ 1.45m (左) と
縦 2.10m × 横 1.00m × 高さ 1.45m (中・右)

